

2016 年 2 月 25 日

三重県いなべ市に新工場建設

「iSMART Factory®」の集大成となる最先端工場で生産性 5 割向上

ヤマザキマザック株式会社（社長：山崎智久、愛知県大口町、TEL:0587-95-1131）は、三重県いなべ市に新たに「いなべ製作所（仮称）」を建設します。

「いなべ製作所」は、現在 大口工場と米国工場で行先行して進めている iSMART Factory 化の集大成となる IoT と自動化を組み合わせた最先端の工場となります。

既に建設用地として、三重県いなべ市員弁町に土地を取得済みであり、16 年度中に建設着工、今後 3-4 年かけて段階的に稼働させ、現在桑名市にあるヤマザキマザック精工から生産機能に移管します。2019 年度中の全面稼働を予定しており、総投資額は約 200 億円を計画しています。

新工場は現工場比約 2 倍の延床面積を有し、航空機をはじめ各産業で高まる工作機械の大型化のニーズに対応した大型工作機械の生産工場となります。また新工場では、物流の最適化、さらには IoT を活用したスマートファクトリー化と自動化で生産性を 5 割向上させます。

当社は“iSMART Factory®”で次世代のモノづくりを実践し、自動化・IoT 化に対応した製品・サービス・ソリューションをお客様に提案していきます。

お問合せ先：ヤマザキマザック株式会社 経営企画室 広報

TEL:0587-95-6849 www.mazak.jp

掲載されているプレスリリース内容は、報道関係者へ発表した情報の要約です。

ご覧の時点で予告無く情報変更が行われている場合がありますので、あらかじめご了承ください